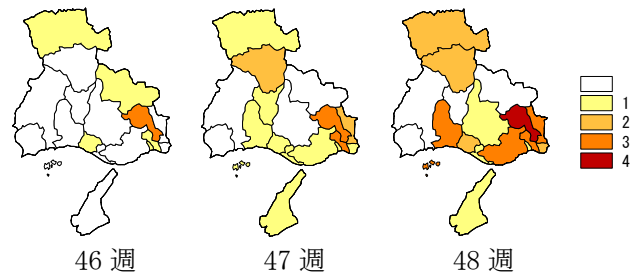
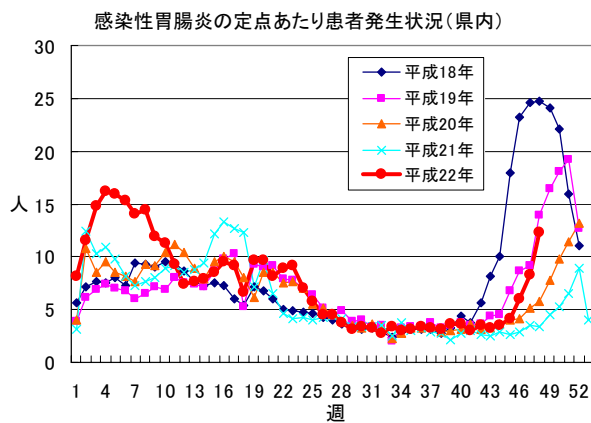


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

感染性胃腸炎

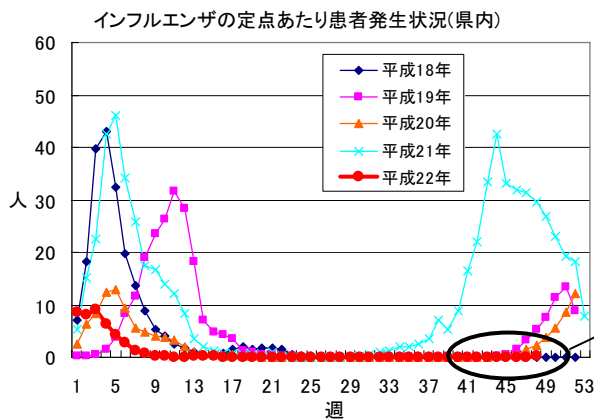
感染性胃腸炎の患者数は第43週以降増加を続けて、平成18年、19年に次ぐ患者数となっています。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



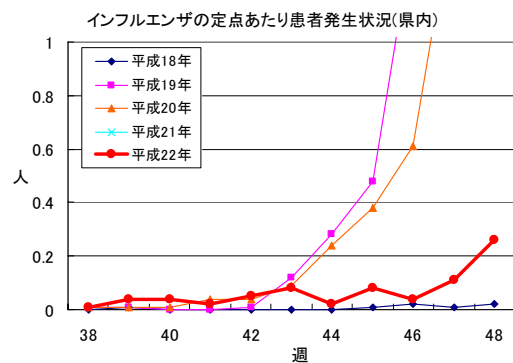
インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **0.26人**(先週は0.11人)と増加しました。また、阪神北地域では幼稚園と小学校合わせて7施設で、阪神南地域では幼稚園1施設でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。インフルエンザの動向にご注意ください。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスは、第28週以降では新型インフルエンザ(AH1pdm)よりA香港型(AH3亜型)の方が多くなっています。



(拡大図)



定点あたり患者数の上位10位の疾病

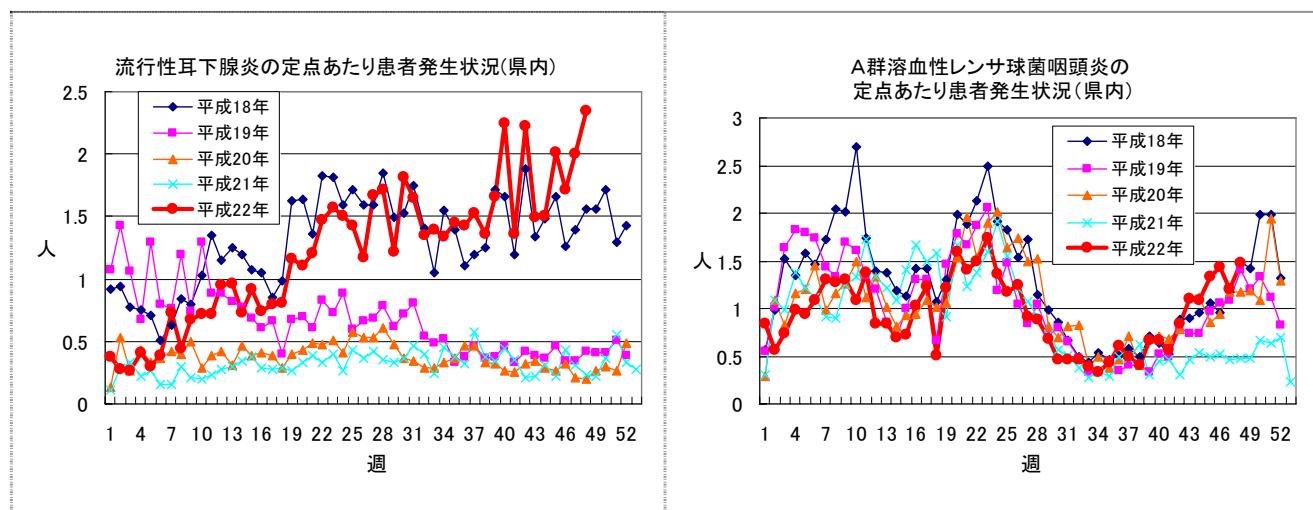
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	12.29	8.32	+3.97	6位	突発性発しん	0.51	0.53	-0.02
2位	水痘	2.47	1.58	+0.89	7位	咽頭結膜熱	0.45	0.49	-0.04
3位	流行性耳下腺炎	2.35	2.00	+0.35	8位	流行性角結膜炎	0.31	0.54	-0.23
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.20	+0.28	9位	インフルエンザ	0.26	0.11	+0.15
5位	RSウイルス感染症	0.67	0.52	+0.15		手足口病	0.26	0.16	+0.10
						伝染性紅斑	0.26	0.26	±0.00

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

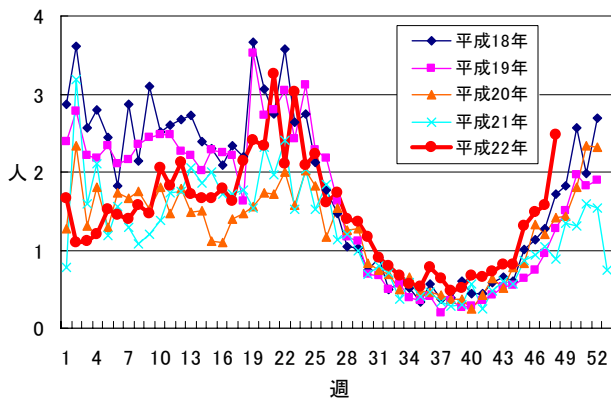
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 13名 （神戸市4名、尼崎市2名、西宮市1名、明石保健所管内3名、加古川保健所管内2名、福崎保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 5名 （有症者2名、うちHUS0名）（神戸市；O157 VT1+ VT2+ 女性40歳代、男性10歳代、O157 VT1+ 男性10歳代、尼崎市；O157 VT型不明 女性40歳代、姫路市；O157 VT1+ 男性20歳代）（累積報告数167名；有症者109名、うちHUS2名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病 1名 （古典型）（神戸市；男性50歳代）、 後天性免疫不全症候群 1名 （無症候）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）
追加報告	結核 2名 （加古川保健所管内1名、龍野保健所管内1名）、 後天性免疫不全症候群 1名 （AIDS）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）

目で見える動向（県内）

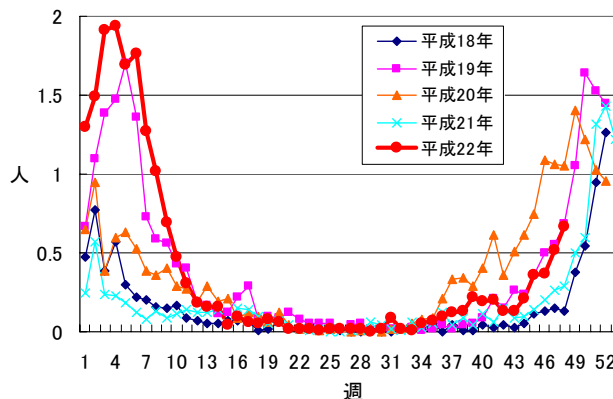
冬型の感染症の流行シーズンとなってきました。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、RSウイルス感染症**などの患者数は増加しています。また、流行性耳下腺炎の患者数がさらに増加しました。



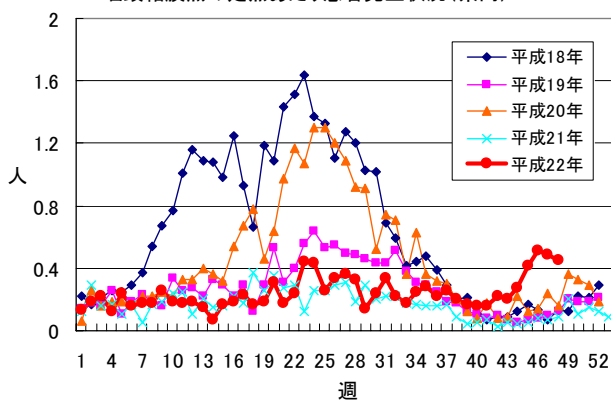
水痘の定点あたり患者発生状況(県内)



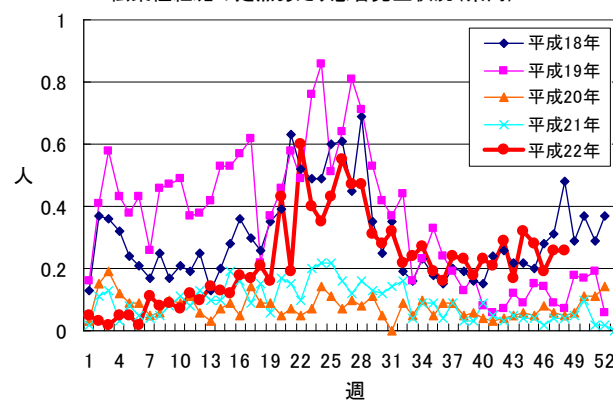
RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況(県内)



咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況(県内)



伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況(県内)



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。